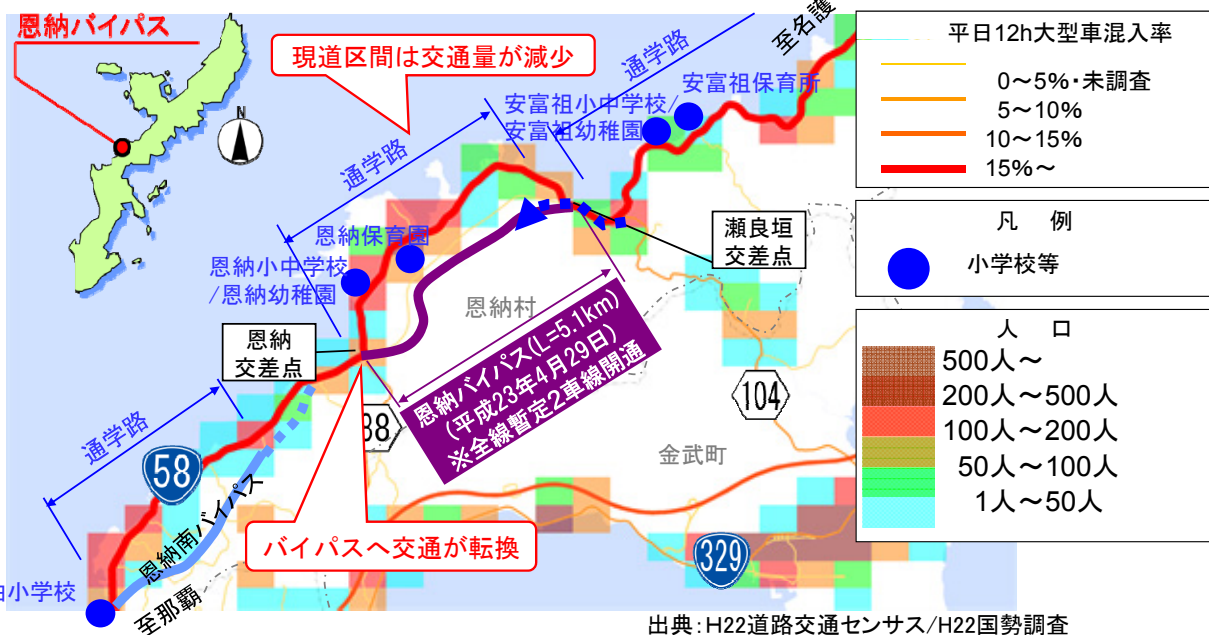


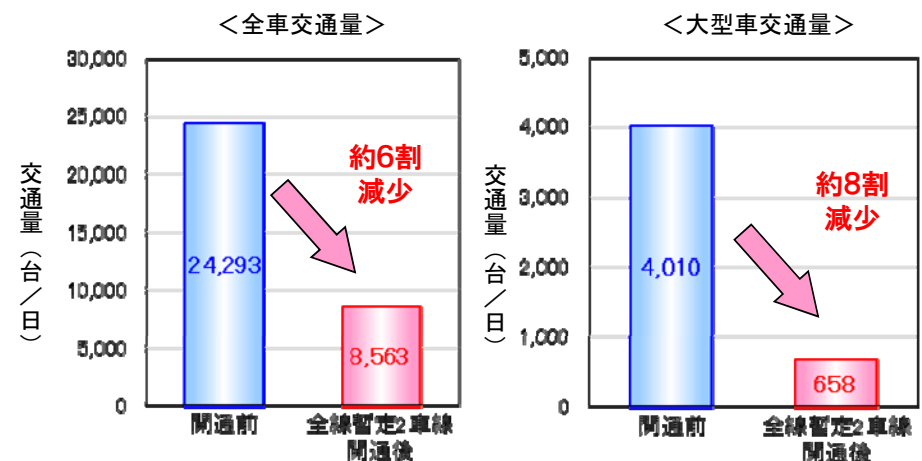
# ①バイパス整備により、現道交通量が減少、安全性が向上【国道58号恩納バイパス】(1)

- 恩納バイパスの全線暫定2車線開通（平成23年4月29日）後、人口密集地域であり、かつ通学路に指定されている国道58号現道区間の交通量が約6割減少（大型車は約8割減少）（図2）
- 企業からは「輸送の確実性や運転時の快適性が向上した」などの声



▲図1 恩納バイパス周辺の大型車混入率と人口分布

## 現道の交通量が減少！



出典：交通量実態調査(恩納交差点)  
調査日：開通前(平日)：H21.8.25(火)(夏季観光シーズン)  
全線暫定2車線開通後(平日)：H26.10.16(水)

▲図2 国道58号現道の交通量の変化

### 企業の声

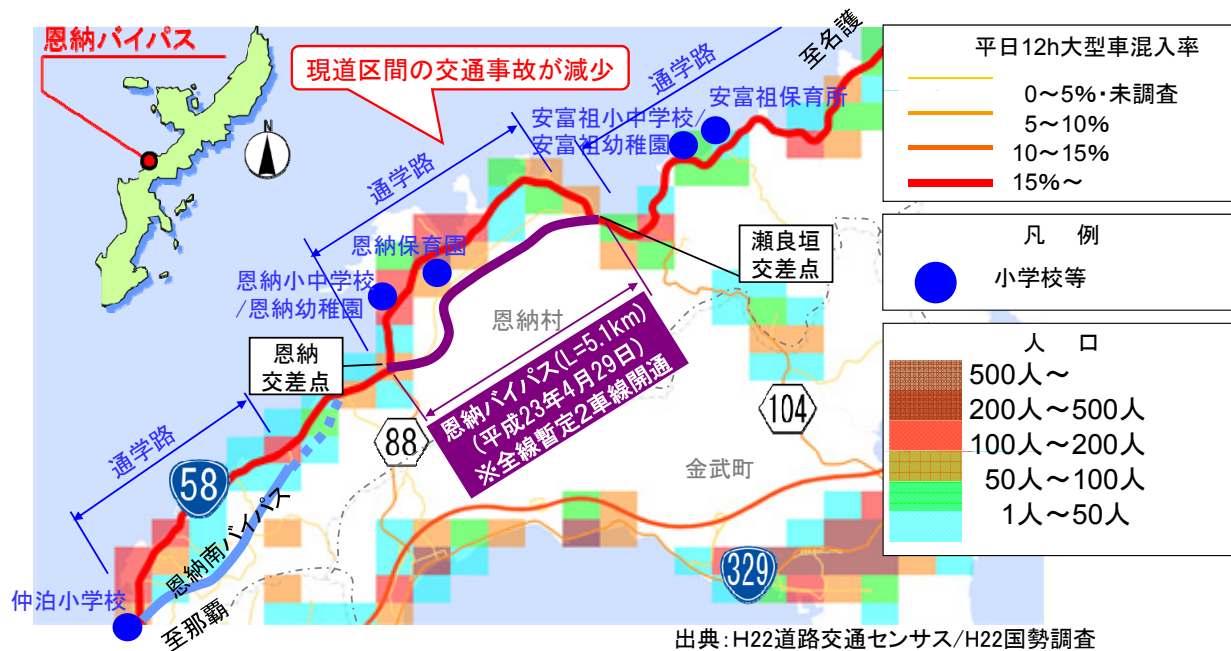
- 搬送ルートが複数(国道58号、恩納バイパス、沖縄自動車道)選択できることで、事故や災害時でも確実な輸送が可能になることは、企業にとって非常に心強い(飲料メーカー)
- 信号機を回避することで、ストップアンドゴーが減り、運転が快適になった(物流業者)

出典：H26北部国道事務所ヒアリング結果

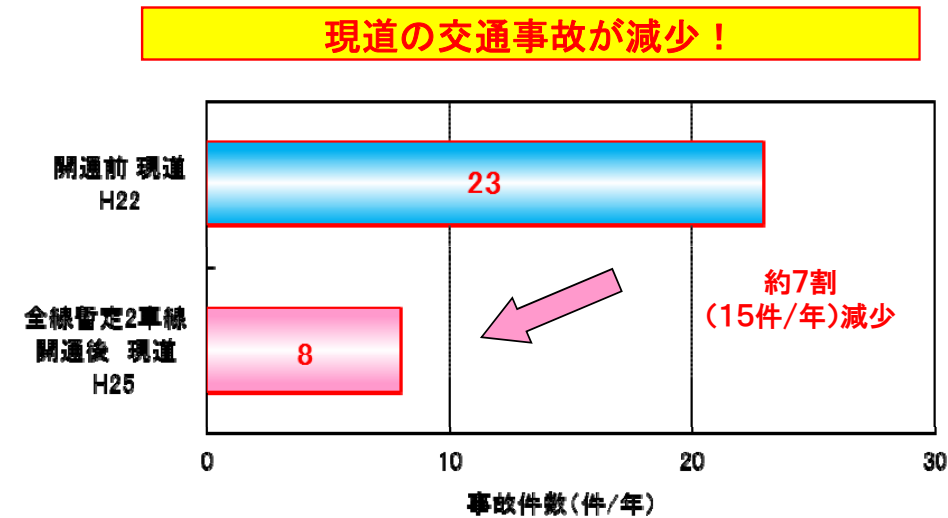


# ①バイパス整備により、現道交通量が減少、安全性が向上【国道58号恩納バイパス】(2)

- 恩納バイパスの全線暫定2車線開通（平成23年4月29日）後、**死傷事故件数が約7割減少**（図2）
- 地域住民からは「**歩行者の安全性が大幅に向上した**」などの声



▲図1 恩納バイパス周辺の大型車混入率と人口分布



出典：イタルダデータ(恩納交差点～瀬良垣交差点)  
調査日：開通前：H22 全線暫定2車線開通後：H25

▲図2 国道58号現道の死傷事故件数の変化

## 地域住民の声

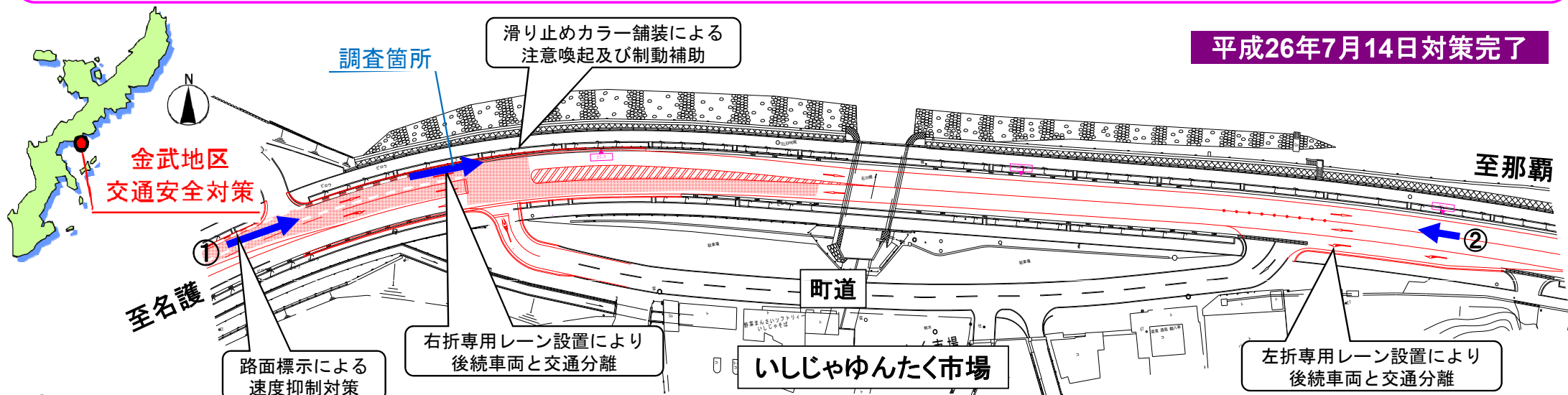
- 恩納バイパス全線暫定2車線開通に伴い、国道58号現道の交通量が減少し、通学路における事故の危険性が減少した(学校関係者)
- 走行速度が速く、車幅も大きいトラック交通がバイパスに転換したことで、歩行者の安全性が大幅に向上した(会社員)
- 国道58号現道では渋滞は大幅に緩和され、事故の危険性も減少した(自治体職員)

出典：H26北部国道事務所ヒアリング結果



## ②滑り止め舗装や専用レーンの整備により、安全性が向上【国道329号金武地区】(1)

- 当該区間は、見通しの良い緩やかな曲線で**速度が出やすい区間**であり危険な状態であったため、滑り止め舗装や路面標示により、走行車両への速度抑制等の注意喚起を実施
- 町道への進入の際に、後続車両速度が高いため、**制動遅れによる追突が多く発生**していたため、右左折専用レーンの整備により、直進後続車両と交通を分離



①対策前



路肩からの追い越しや急停車など不安定な挙動が発生

①対策後



右折レーンを設置、後続車両と交通分離され安全な通行を確保

②対策前



追い越しや急停車など不安定な挙動が発生

②対策後



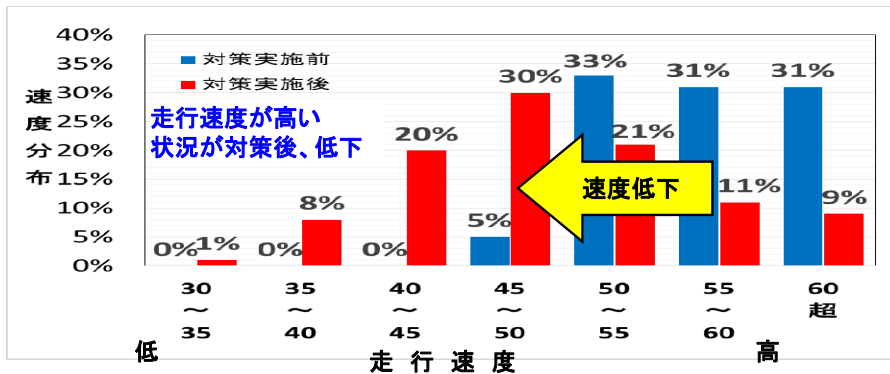
左折レーンを設置、後続車両と交通分離され安全な通行を確保

▲図 対策状況図

## ②滑り止め舗装や専用レーンの整備により、安全性が向上【国道329号金武地区】(2)

- 速度抑制対策により**走行速度が低下**（図1）
- 右左折専用レーンの整備により、交通を円滑化、**後続車の急な車線変更等を抑制**（図2）
- 地域住民からは「**出入りの際の車両の安全性が向上した**」などの声

### 車両の走行速度が低下！



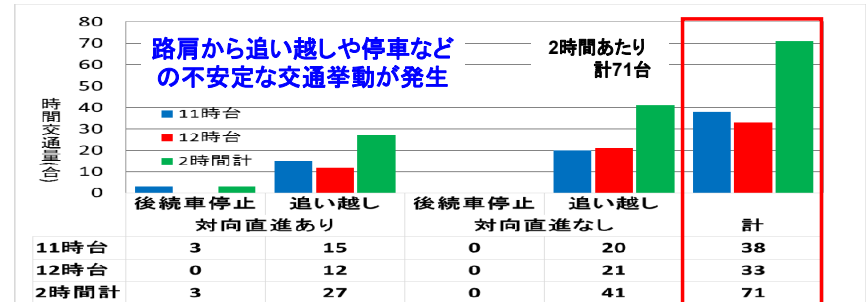
(対策前)  
走行速度50km/hを超える車両が9割超

(対策後)  
走行速度50km/hを超える車両が4割程度に低下

▲図1 走行速度分布調査

出典：交通挙動調査  
調査日：対策実施前H25.2.25(月)  
対策実施後H26.9.17(水)

### 車両の不安定な交通挙動が確認されなかった！



▲図2 交通挙動調査

### 地域住民の声

- 右折、左折専用車線が整備されたので、町道への出入りの際にゆとりをもって待てるようになった(市場関係者)
- 対策前と比べて、追突などの事故がほとんどなくなったように感じる(市場関係者)
- 対策前は走行速度が速くて、出入りの際に危険を感じていたが、走行速度が下がって安全性が向上した(地域住民)

出典：H27北部国道事務所ヒアリング結果

